



1年生が どんどん北高生になっていく!

5月25日(木)



6月3・4日(土・日)

6月11日(日)

5月25日(高校総体・総文壮行式)

この日は、別の会議があって、激励の言葉は教頭先生にお任せしていたのですが、会議が早く終わったので、体育館の後ろから、壮行式の様子をうかがっていました。

ステージに立つ3年生の各部のキャプテンの力強い言葉の後、迫力ある応援団のエール。そして、体を反って歌う北高名物の校歌の熱唱。

何がすごかって、その第一声から、全力で歌う姿です。周りを窺うでもなく、その最初の一声から全力で歌うことができる北高生のすごさです。全校生徒に見られる所に立っているステージ上の男子生徒も、躊躇することなく、全力で歌っている姿には体が震えました。

一方で、1年生はというと、無理ありません。自分たちは、どうしたらいいのか、少し戸惑っている様子。北高生になるのには、もう少し時間が必要なのかな。



6月3・4日(高校総体・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動)

高校総体県予選 3日(土)、4日(日)は、県内各地で高校総体の県予選が行われました。バレー部、卓球部が、団体で一回戦を突破したとのこと。残念ながら、勝利を手にすることができなかった部も悔いのない試合をしてくれたことと思います。

3年生にとっては、3年間、といっても2年と少しですが、いろいろなことがあったことでしょう。それらを乗り越えて、やり遂げたことは、これからの自信になるはずです。それらの思い出と部活動を通じて培った仲間との絆をこれからも大切にしたいです。そして、何よりも、そんな素敵な経験ができる機会を与えてくださり、支えてくださったご家族の方への感謝の気持ちを忘れずに、また、土曜、日曜と家族とふれあう時間を削って、彼氏・彼女とデートをする時間(?)を削って、みなさんの練習・試合におつきあいしてくださった顧問の先生のこともしっかりと忘れないでください。ご家族の方には、きちんと言葉で、顧問の先生には、言葉は要らないから、これからの学校生活での態度で恩返しをしてください。私たち教員にとっては、みなさんが、一日一日、一つひとつの経験を通して成長していく姿が何よりも嬉しいのですから。

私は、3日の午前中は、宇部市で行われるバレーボール部、ソフトテニス部の応援に行ってきました。どの高校にとっても、一番大きな大会で、多くの3年生にとっては最後の大会となる試合会場は、熱気に包まれていました。1年生にとっては、初めて経験する大きな大会で、「この雰囲気には飲まれなければいいけど」と思いながら、試合をみていました。



最初は、そのとまどいもあったかもしれませんが、しかし、どの子が1年生かわからないくらい、一体感があって、澁刺とプレイしていました。だんだん、北高生になってきているぞ。

きっと、3年生、2年生の先輩が、試合中はもとより、4月からの毎日の練習で、1年生を温かく迎え、育ててきたんでしょうね。いじわるな先輩だったら、1年生があんなに活躍できるはずないもん。

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6・26街頭キャンペーン

3日の午後からは、「道の駅北浦街道ほうほく」で行われるキャンペーンに、来春の入学生から統合して新高校となる響高校JRC部と本校ボランティア研究会の生徒と参加してきました。

このキャンペーンは、薬物乱用防止に関する理解と認識を高めることを目的として行われるもので、2，3年生に混じって大きな声で募金を呼びかける1年生の姿をみる事ができました。



6月11日（文化祭）

一体、3年生は一人で何役務めているのでしょうか。バザーに、クラス発表に、ファンションショーに、装飾に……。

「うちのお姉ちゃんが、北高の文化祭をみてうらやましがっていた。」ある保護者の方の言葉です。大きな学校だと、活躍するチャンスは限られます。三分の一くらいの生徒が一生懸命になって、後の生徒は観客。北高は、一人ひとりが主役どころか、池岡先生曰く「一人二役は当たり前、三役、四役で一人前!!」。個性がきらきら輝く素敵な文化祭でした。

これだけの短期間に、これだけのことを同時進行でやり遂げるためには、余程の強い意志と想いがなければできません。指示されるのを待っていたのではできません。マニュアル通りにしかできなかつたり、「やらされている感」でやっていたのでは、できません。自分に何ができるのか、何をしなければならぬのか。今、何が足りないのかということ一人ひとりが意識でき、実行する力があるという証拠です。その力は、社会に出たときにきっと役に立つはずです。

進路指導の吉田先生が言っておられた「自立」の芽が芽生えているようです。次は、チャンネルを切り替えて、この経験さえも、自分の進路実現に活かしていきましょう。受験は団体戦と言われます。全員が希望する進路を実現できるよう、学年の雰囲気を作っていきましょう。

その3年生は、2年生、1年生にとっても素敵なメッセージを残してくれましたね。2年1組の劇と2年2組のムービーの独創性、アイデア、表現力には、一本取られました。恥ずかしがって、中途半端になってしまうことよくあるのですが、堂々としていて、本当に頼もしい。みなさんが3年生になって創り上げる文化祭、学校が今から楽しみです。いろいろなことを任せてみたい。そんな気持ちになりました。

そして、1年生の合唱。1組も2組も大きな声が出ていて、「ああ、もう北高生になってきたな」と感じました。いい学年になってきたなと感じました。熱心に歌唱指導をしてくださった崎永先生も大変、喜んでいらっしゃいました。これからも、認め合い、支え合い、高め合って、明日の北高を支えていってください。

開会式で、文化祭という **Chance** に、積極的に **Challenge** して、自分を、学校を **Change** して欲しいという3つのCについてお話ししました。一日を通して、たくさんのCを見つけることができました。みなさんの若さが「うらやまC」。北高ダービーに飛び入り参加したかわいくて聡明な山手ジュニアを紹介できなかったのはとても「惜しC」。ムービーに出演した梶谷先生はとても「おいC」。北高カレー、うどん、やきそば、焼き鳥、どれも「おいC」。それを全部食べて「くるC」。とても「たのC」くて、「うれC」一日でした。